

製品名: CCK-AR ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08128**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	44kDa

抗原情報

遺伝子名	CCKAR
別名	CCKAR; CCKRA; Cholecystokinin receptor type A; CCK-A receptor; CCK-AR; Cholecystokinin-1 receptor; CCK1-R
遺伝子 ID	886.0
SwissProt ID	P32238
免疫原	抗血清はヒト CCKAR 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 215-264

背景

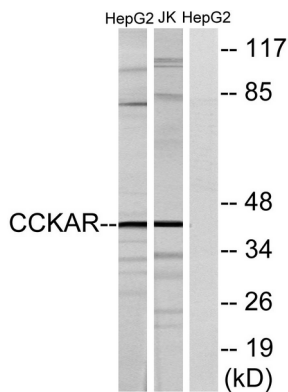
この遺伝子は、コレシストキニン（CCK）ファミリーペプチドホルモンの非硫酸化メンバーに結合する G タンパク質共役受容体を

コードしています。この受容体は、膵酵素分泌と胆嚢および胃の平滑筋収縮の主要な生理学的メディエーターです。中枢神経系および末梢神経系において、この受容体は満腹感、 β -エンドルフィン、ドーパミンの放出を制御します。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: コレシストキニン受容体。膵臓の成長と酵素分泌、胆嚢および胃の平滑筋収縮を制御します。ガストリンよりも CCK に対して 1000 倍高い親和性を有します。中枢神経系および末梢神経系において、摂食行動とドーパミン誘発行動を調節します。この受容体は、ホスファチジルイノシトールカルシウムセカンドメッセンジャーシステムを活性化する G タンパク質との結合によってその作用を媒介します。、オンライン情報:コレシストキニン受容体エントリ,類似性:G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属します。、

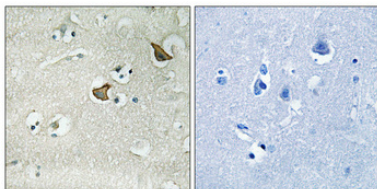
研究分野

カルシウム,神経活性リガンド-受容体相互作用;

画像データ



CCKAR 抗体を用いた HepG2 細胞および Jurkat 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。